

古風天正傳集卷之四

十四年八月六日

八月三日第三號

西村鶴文存卷之三

于十月十二日濟

長官



三為生



吉永白言

于長元元年



口會新



書記



口記



乙卯



松尾

松尾

系

諸

系







右段大臣の御意を教

十四年八月十四日

小形為久家上信り石州

# 長官

三等出仕

● 守建白所司

右村信治

書記官

四記

課

乙方(松妻身)

農業試験場

出候用地の内込地、美上中

小形為久家上信り石州

古世用也  
三不二様より候、内古子古子様古候、古子

三不二様より候、内古子古子様古候、古子

石州

右の如く